

事務事業名	地域活動支援センター事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	障がい者福祉G	課長名	中島 豊
施策名	(19) 障がい者福祉の充実	担当者名	板持 美保	電話番号 (内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(056) 福祉サービスの充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 015 415 014	地域活動支援センター事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	障がい者等に創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流等の便宜を供与する事業 (I型~III型)	平成18年4月1日施行の障害者自立支援法により、同年10月から新しい福祉サービスが開始されたことによる。

(2) トータルコスト

	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳 (概要)							
委託料 36,609,640円	事業費	1,569	2,398	1,168	900		
	財源内訳						
	国庫支出金	千円 965	千円 500	千円 750	千円 500		
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	千円 27,803	千円 28,514	千円 34,692	千円 30,464		
	事業費計 (A)	千円 30,337	千円 31,412	千円 36,610	千円 31,864	0	
② 延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等)							
I型、III型は、委託事業所で決定しサービス⇒市給付、II型は、申請⇒市審査、給付決定⇒事業所請求⇒市給付	人件費						
	正規職員従事人数	人 4	人 4	人 2			
	延べ業務時間	時間 538	時間 500	時間 500			
	人件費計 (B)	千円 2,052	千円 1,944	千円 1,971	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円 32,389	千円 33,356	千円 38,581	千円 31,864	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
	23年度実績 (23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	社会福祉法人に委託し事業をおこなった	ア 委託法人数	箇所	6	6	6	6		
		イ 申請者数 (II型のみ)	人	7	10	12	10		
	24年度計画 (24年度に計画している主な活動)	ウ							
	社会福祉法人に委託し事業を行う	エ							
		オ							

目的	② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
	障がい者	⑥ 対象指標							
		ア 障がい者 (児) 数	人	3827	3915	3975	4036		
		イ							
	③ 意図 (対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	障がい者の地域生活力を高める	ア 利用件数 (II型のみ)	件	79	105	139	180		
		イ							
		ウ							
	④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	障がい者 (児) の自立生活及び社会参加の促進	ア 障がい者が社会参加しやすい環境であると感ずる市民の割合	%	24.2	25.7	24.9			
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々利用者が増加している。</li> <li>・年々利用者の負担額が軽減されている。</li> </ul>	平成20年度から公募方式で事業者の応募を受けて実施	委託事業所から貸付施設の増設等の要望あり

事務事業名	地域活動支援センター事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 障がい者の自立と社会参加につながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 障害者自立支援法に規程されている地域生活支援事業の必須事業であり、市町村が必ず実施しなければならない
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 対象者は障害者自立支援法により障がい者に限定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 成果は利用件数の増加によるが、施設の増設による向上は可能
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 障がい者の日中活動の場がなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業実施には専門的な知識が必要であり、事業費を削減すれば事業運営に支障がでる 事業開始時と比較して、すでに委託料を下げている、これ以上の削減は困難
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 委託により実施している
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 対象者は障害者自立支援法により障がい者に限定されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後の利用状況、法律の改正等を踏まえながら、サービスが低下しないように実施していく。 施設の増設も含め検討が必要																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  施設の増設、または委託事業者を増やす。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		●	×				×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持 低下		●	×																			
			×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  増設の施設については、財源が必要																							